

新年度のまちづくりが始まります

平成17年度予算

ダイジェスト

一般会計 166 億円

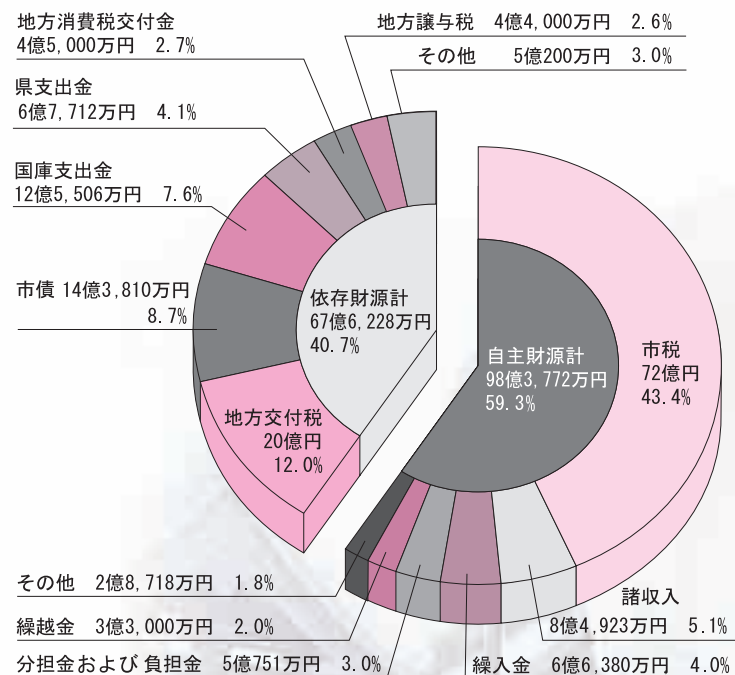
歳入

歳入全般では、特定財源の有効活用と確保を図り、持続可能な財政運営の堅持に努めました。

自主財源に分類される市税では、法人市民税が企業収益の停滞で前年度当初比11.4%減となるものの、個人市民税は地方税法の改正に伴う増収分、および固定資産税は、新築家屋の増加分を見込み、全体で前年度当初比0.7%増の72億円を計上しました。

また、繰入金では、中山道会館建設基金を約1億8,500万円、活性化推進基金を約1億2,800万円などを取りくずします。

依存財源では、国の三位一体の改革に伴う地方交付税の影響額を考慮し、20億円を計上しました。また、地方譲与税は、所得譲与税の増額などにより前年度当初比33.3%増の4億4,000万円を見込みました。市債は、後年度への負担も考慮し、極力抑制に努めました。

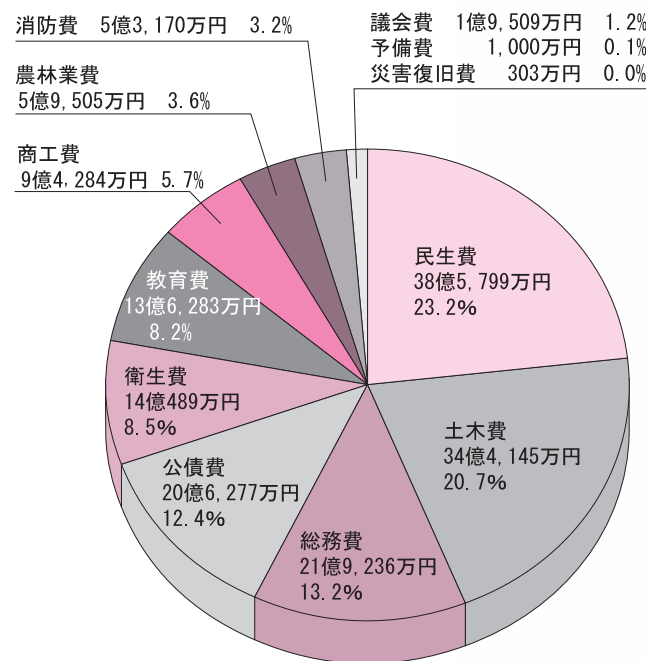


- 予算編成の留意点
- ① 真の分権型社会の実現に向けた行政運営の推進
 - ② 直面する重要施策への重点的かつ効率的な配分
 - ・地域社会の中で個性を生かした子どもの健全育成と障がい者や高齢者が生きがいを持ち、元気に安心して暮らせる地域づくり
 - ・西畑正理線など、基幹的事業の整備や市民生活に密着したきめ細やかな生活関連基盤整備
 - ・中山道会館建設を契機にした観光資源の活用や全国規模の大会開催等に
 - ③ 後半にさしかかる、第4次総合計画の基本方針を具現化する事業のさらなる推進
 - ・よる交流の促進と地域おこし
 - ・消防団など各種団体やふれあい安全サポーター、生活安全推進員と地域の連携による、安全で安心のできる生活環境の確保・充実
 - ・情報化や外国語、外国文化に関心の持てる児童生徒の育成や暮らしと教育に主眼を置いた定住外国人との共生事業の充実・推進

歳出 (目的別歳出予算)

限られた財源の中で、創意工夫により、第4次総合計画の基本方針を具現化した市の基幹的な事業の推進と、直面する重要施策への重点的かつ効率的な配分を行いました。一方、市職員の調整手当の廃止や各種団体の運営補助金の見直しなど、行財政改革の推進を図りました。

また、新規事業では、特別養護老人ホーム整備事業補助や中山道会館建設事業を始め、各種事業を展開することにより、まちづくりの推進を行います。



■平成17年度会計別予算

単位：万円・%

会計名	平成17年度	平成16年度	差引増減	増減率%
一般会計	166億0,000	170億0,000	△4億0,000	△2.4
特別会計				
国民健康保険会計	39億4,851	35億7,302	3億7,549	10.5
介護保険会計	22億4,957	18億6,911	3億8,046	20.4
老人保健会計	39億4,194	39億7,635	△3,441	△0.9
公共下水道事業会計	28億3,308	35億0,868	△6億7,560	△19.3
特定環境保全公共下水道事業会計	3億3,640	4億7,202	△1億3,562	△28.7
農業集落排水事業会計	1億5,678	1億5,703	△25	△0.2
東海環状自動車道工事残土処分事業会計	5億5,600	5億3,000	2,600	4.9
計	140億2,228	140億8,621	△6,393	△0.5
水道事業会計	23億1,376	17億7,212	5億4,164	30.6
合計	329億3,604	328億5,833	7,771	0.2